

平成28年12月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,727,099</b>	<b>187,575</b>	<b>1,798,950</b>	<b>66.0%</b>	<b>928,149</b>		
1. 営業収益	2,302,614	182,610	1,759,091	76.4%	543,523		
1. 給水収益	2,271,024	181,949	1,728,477	76.1%	542,547		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,590	660	30,614	96.9%	976		
2. 営業外収益	424,102	3,935	38,270	9.0%	385,832		
3. 特別利益	383	1,030	1,590	415.1%	△ 1,207		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,519,865</b>	<b>100,758</b>	<b>770,968</b>	<b>30.6%</b>	<b>1,748,897</b>	<b>970,576</b>	<b>38.5%</b>
1. 営業費用	2,253,744	100,714	651,337	28.9%	1,602,407	850,838	37.8%
1. 原水及び浄水費	467,770	31,224	250,125	53.5%	217,645	331,040	70.8%
2. 配水費	292,371	28,652	164,066	56.1%	128,305	193,323	66.1%
3. 給水費	106,460	10,828	56,093	52.7%	50,367	66,115	62.1%
4. 受託工事費							
5. 業務費	161,802	14,901	108,539	67.1%	53,263	156,798	96.9%
6. 総係費	139,605	15,109	72,513	51.9%	67,092	103,560	74.2%
8. 減価償却費	1,035,636				1,035,636		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	244,316		119,238	48.8%	125,078	119,238	48.8%
3. 特別損失	1,805	44	393	21.8%	1,412	500	27.7%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>2,640,209</b>	<b>16,476</b>	<b>337,569</b>	<b>12.8%</b>	<b>2,302,640</b>		
1. 企業債	1,414,300		55,000	3.9%	1,359,300		
2. 負担金・補償金	290,301	15,137	260,949	89.9%	29,352		
3. 補助金	347,554				347,554		
4. 出資金	576,002		11,500	2.0%	564,502		
5. 加入金	12,052	1,339	10,120	84.0%	1,932		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,884,640</b>	<b>19,421</b>	<b>598,051</b>	<b>15.4%</b>	<b>3,286,589</b>	<b>4,459,140</b>	<b>114.8%</b>
1. 建設改良費	3,229,592	19,421	273,646	8.5%	2,955,946	4,134,734	128.0%
1. 取水施設整備費	1,118,656	4,698	4,698	0.4%	1,113,958	2,435,228	217.7%
2. 導水施設整備費	216,540				216,540	205,308	94.8%
3. 浄水施設整備費	109,129	799	26,687	24.5%	82,442	87,199	79.9%
4. 送水施設整備費	481,140				481,140	455,472	94.7%
5. 配給水施設整備費	1,301,103	13,923	242,261	18.6%	1,058,842	948,719	72.9%
6. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,808	92.9%
2. 企業債償還金	655,048		324,405	49.5%	330,643	324,405	49.5%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>57,365</b>	<b>2,479</b>	<b>15,978</b>	<b>27.9%</b>	<b>41,387</b>	<b>31,821</b>	<b>55.5%</b>
①有収水量	8,000,000	630,896	6,030,692	75.4%	1,969,308		
②供給単価	283.88	288.40	286.61	101.0%	△ 2.74		
③給水原価	258.40	159.64	127.78	49.4%	130.62		
<b>人件費</b>	<b>249,195</b>	<b>40,729</b>	<b>184,892</b>	<b>74.2%</b>	<b>64,303</b>		
1. 収益的収支	210,173	33,365	152,855	72.7%	57,318		
1. 職員給与費	208,114	33,072	151,165	72.6%	56,949		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	2,059	293	1,690	82.1%	369		
2. 資本的収支	39,022	7,365	32,037	82.1%	6,985		
* 職員給与費	247,136	40,436	183,202	74.1%	63,934		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	18.2%	8.7%				
2. 全職員	10.9%	22.2%	10.6%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>43,059,091</b>	<b>43,314,846</b>	<b>255,755</b>	
*減価償却累計額	18,174,387	18,174,387		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,658,830</b>	<b>3,645,795</b>	<b>△ 13,035</b>	
1. 現金預金	2,796,809	2,111,314	△ 685,495	
2. 未収金	820,666	461,686	△ 358,980	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	30,743	△ 3,230	
5. 前払費用・前払金	190	985,419	985,229	工事前払金等
6. その他		56,632	56,632	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>733,411</b>	<b>733,411</b>	
1. 営業費用		613,808	613,808	
2. 営業外費用		119,238	119,238	
3. 特別損失		365	365	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>50,118,489</b>	<b>51,094,619</b>	<b>976,129</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,281,820</b>	<b>11,336,820</b>	<b>55,000</b>	
1. 企業債	10,994,615	11,049,615	55,000	
2. 引当金	287,205	287,205		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,547,494</b>	<b>518,603</b>	<b>△ 1,028,890</b>	
1. 企業債	655,044	330,639	△ 324,405	H28年度償還元金
2. 未払金	825,284	13,092	△ 812,192	
3. 前受金	112	75	△ 36	
4. 引当金	55,109	28,768	△ 26,341	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	11,945	146,029	134,084	
うち仮受消費税		131,434	131,434	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,443,211</b>	<b>9,713,470</b>	<b>270,259</b>	
1. 長期前受金	9,443,211	9,713,470	270,259	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,400,567	3,400,567		
<b>H. 資本金</b>	<b>9,340,661</b>	<b>9,659,677</b>	<b>319,016</b>	
1. 自己資本金	9,340,661	9,659,677	319,016	・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>330,417</b>	<b>22,900</b>	<b>△ 307,517</b>	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	307,517		△ 307,517	
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>1,668,261</b>	<b>1,668,261</b>	
1. 営業収益		1,631,056	1,631,056	
2. 営業外収益		35,651	35,651	
3. 特別利益		1,555	1,555	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>50,118,489</b>	<b>51,094,619</b>	<b>976,130</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	265.38	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	121.55	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	260.96	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	76.67%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	84.09%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	702.91%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	407.12%	=現金預金÷流動負債	

\*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成28年12月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,509	276,114	277,560	275,495	△1,446	619
2 調定水量	m <sup>3</sup>	626,572	5,988,785	6,100,000	6,103,849	△111,215	△115,064
3 調定料金(税抜)	円	168,471,521	1,600,441,515	1,606,300,000	1,613,975,926	△5,858,485	△13,534,411
4 口振加入件数	件	25,271	228,843	-	229,390	-	△547

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	81,707	-	82,489	△ 782
6 給水件数	件	30,197	-	30,175	22
7 開栓処理件数	件	178	2,359	2,080	279
8 閉栓処理件数	件	309	2,463	2,160	303
9 給水工事設計審査	件	61	550	541	9
10 給水工事竣工検査	件	63	749	645	104
11 経年メーター交換	件	305	3,102	1,338	1,764
12 メーター口径変更	件	7	46	20	26
13 月末停止件数	件	△ 4	75	76	△1

3 料金徴収関係

項目	A 当月末未収額		B 収納率		C 前年同期未収額		D 収納率	
14 当年度分	192,430,099	円	88.87	%	196,137,918	円	88.75	%
15 過年度分	4,547,406	円	97.69	%	4,707,594	円	97.47	%
16 全体(計)	196,977,505	円	-		200,845,512	円	-	

4 給水装置工事指定業者(市外1社追加)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	7	106	117	223

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	102/105	10/10	68/71	9/9	11/11	1/1	5/5	0/0	17/17	0/0	1/1	0/0
契約締結	一般	26	5	26	5	0	0	0	0	0	0	0
	指名	49	3	31	3	5	0	1	0	12	0	0
	随契	27	2	11	1	6	1	4	0	5	0	1
	合計	102	10	68	9	11	1	5	0	17	0	1

※入札中止 当月 0件:累計2件/入札不調 当月 0件:累計 3/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	22	5	工事
中間検査	18	5	工事
合計	40	10	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
部長等連絡調整会議	-日	
事業調整会議	-日	
水道事業連絡会議	14日	第9回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	13日	第9回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	13日	12月期 「水質問合せ研修会」
給水拠点設置訓練	20日	第9回 南方総合支所
経営分析会議	26日	11月期 各種経営分析等
例月出納検査	27日	11月分 例月出納現金検査
指名委員会	19日	第28回
入札	1・8日	4件・6件
緊急メールの発出	-日	漏水11、破損2、配信訓練1、取水停止2、作業情報1

特記事項

1. 12月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は181,949千円(税込)で、前月期に比べて5,739千円の減で、予算執行率(累計)は76.1%(前年度77.1%)、対前年同月比(税抜)では915千円の減となっています。営業収益は手数料収益660円を含む182,610千円、営業外収益は事務手数料3,704千円を含む3,935千円となりました。特別利益として、石越浄水場急速攪拌機故障に伴う保険金1,030千円を執行しました。

当期の営業費用は100,714千円を執行し、累計額は651,337千円、予算執行率(累計)は28.9%(前年度31.5%)となりました。特別損失として放射性物質検査料44千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金198千円、補償金14,939千円、加入金1,339千円を執行し累計で271,069千円となり、執行率(累計)は10.5%(前年度0.6%)でした。

支出は、取水施設機器整備費に4,698千円、浄水施設機器整備費に799千円、配給水工事請負費に事務費を含め13,923千円を執行し、累計では462,234千円となり、執行率(累計)は12.3%(前年度12.0%)でした。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、材料に1,178千円、薬品に1,248千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 12月定期議会が開会

平成28年登米市議会定例会12月定期議会が12月1日(木)から14日(水)までの日程で開会しました。水道事業所では、提案した平成28年度登米市水道事業補正会計予算(第2号)が原案どおり可決されました。内容は、人事院勧告に伴う人件費の補正と、債務負担行為として平成29年度からの登米市水道事業事務機器管理業務45,000千円、並びに登米市水道事業設計積算システム管理業務37,400千円の追加2件でした。

(2) 総務企画常任委員会で議会への付議議案を説明

12月6日(火)に総務企画常任委員会が開催されました。調査内容は、12月定期議会への付議案件(補正予算)についてでした。これまでリースで行っていた、事務機器等の賃貸借と積算システムの賃貸借について、管理業務を含めた業務委託とすることの内容について説明を行いました。

(3) 第5回施設更新計画策定委員会を開催

平成28年度3回目となる第5回登米市水道事業施設更新計画策定委員会が12月15日(木)~16日(金)の2日間開催しました。

1日目は「施設の再構築・再配置計画について②」を議題として、水質検査方針や水質試験結果の分析、水質異常時の事例や各浄水場の施設の健全度について協議し、基幹の浄水場である保呂羽浄水場の更新計画についても協議を行いました。

2日目は、新田配水池の送水管布設工事においてφ300mmの耐震管の布設の現場を視察しました。



布設工事現場視察

(4) 水道事業職員(社会人経験者)採用試験の実施を告示

今年度、水道事業職員として1名を採用し、平成29年度に向けて市長部局と合同の採用試験を実施しましたが、受験者の中から合格者がいなかったため、水道事業として初めてとなる独自の職員採用試験を実施することとしました。

水道事業における技術力を確保することを目的として職員を採用します。とりわけ水道法により設置が定められている、「水道技術管理者」等の資格者の確保を優先して、社会人経験者を対象として試験を実施します。

12月19日(月)に告示した内容は、技術(水道事業)で水道施設工事等の設計、調査、現場指導等、専門業務に従事し、採用予定は2名程度、試験日は平成29年1月29日(日)です。

# 平成28年12月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	828,072	7,497,580	7,488,980	7,573,864	8,600	-76,284
総配水量	794,434	7,171,907	7,209,410	7,193,011	-37,503	-21,104
1 有効水量	696,299	6,481,819	6,596,870	6,598,024	-115,041	-116,195
(1)有収水量	630,896	6,030,692	6,138,000	6,142,170	-107,308	-111,478
(2)無収水量	65,403	451,127	458,870	455,854	-7,733	-4,717
2 無効水量	98,135	690,078	612,540	594,987	77,538	95,091
(1)漏水量	97,921	684,939	606,000	588,613	78,939	96,326
(2)その他無効水量	214	5,139	6,540	6,374	-1,401	-1,235
3 有収率	79.42	84.09	85.14	85.39	-1.05	-1.30

※当月期の最大配水量は、12月31日(土)に記録した【27,830m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	1,118,656	3	999,972	1	4,698	113,986	89.8%
イ 導水施設整備事業	2	216,540	2	205,308	0	0	11,232	94.8%
ウ 浄水施設整備事業	14	109,129	6	60,512	8	26,687	21,930	79.9%
エ 送水管整備事業	5	481,140	5	455,472	0	0	25,668	94.7%
オ 配給水施設整備事業	71	1,165,720	27	706,458	8	106,444	352,818	69.7%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 6)	(測定戸数: 1)	(測定戸数: 2)
平均	0.57	0.39	0.44	0.56	0.50
最低	0.53	0.20	0.20	0.50	0.40
最高	0.62	0.63	0.70	0.60	0.55

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H28.12.20	<0.8	<1.0	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H28.12.20	<0.7	<1.0	楼台浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H28.12.20	<0.9	<0.9	合の木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H28.12.20	<0.8	<0.8	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 下り松取水ポンプ交換作業実施

11月28日、浄水施設等管理運営業務の日常点検の際、4号取水ポンプ封水槽の水位異常を確認しました。メーカー(新菱工業株)の調査の結果、モーターへの浸水から今後の継続運転は機器破損の恐れがあるとの報告を受けました。12月21日から12月28日の期間で2号取水ポンプ(平成27年度整備、新菱工業平塚工場保管)への交換作業を行いました。

故障した4号取水ポンプは、東日本大震災での故障(平成23年5月)修理後、平成23年12月から運転再開し、運転時間は20,550時間(推奨運転時間20,000時間)を経過していました。

現在の取水ポンプの運転状況は、深夜に1台、その他時間帯が2台運転であることから今後は、運転時間の少ない今回交換した2号取水ポンプと1号取水ポンプ(平成27年7月交換)を優先し、平成29年度に予定している取水方式の変更に向け、計画的に運転してまいります。

4号取水ポンプ撤去状況



クレーン作業(搬出・搬入)



2号取水ポンプ(全景)



### 2 「電話対応勉強会」を開催

12月13日「水質に関する電話対応勉強会」群馬東部水道企業団(太田市外2市5町)包括業務受託者(明電舎:桐生氏)を迎えて開催し、水道事業所職員、業務受託者、水道モニター等約40人が受講しました。太田市の事例をもとに、「電話対応で完了した事例」「簡易水質検査で完了した事例」「精密水質検査で完了した事例」「解決が難航した事例」等様々な対応事例の発表がありました。また、参考資料「水質問合 Q&A」は、「確認事項、原因特定、対策、健康被害等」が記載され当水道事業所においても参考となるものです。今後も様々な勉強会を開催し需要家への充実した対応を目指します。



### 3 保呂羽浄水場「天日乾燥床汚泥」搬出

12月2日から12日、浄水処理により発生した浄水汚泥740m<sup>3</sup>(保呂羽浄水場690m<sup>3</sup>、石越浄水場50m<sup>3</sup>)を(株)吉田レミコン宮城リ・ソイルセンターへ搬出しました。汚泥は、再生改良して加工し土木資材として再利用するもので年1回実施するものです。汚泥に含まれる放射性物質量は40~86Bq/kgで「放射性物質汚染対処等特別措置法:浄水発生土の放射性濃度100Bq以上報告」の範囲内でした。

### 4 平成28年度の漏水調査結果について

12月末の漏水調査の結果80件153.31m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

### 5 地震発生状況

平成28年11月22日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。

漏 水 調 査 結 果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	14	111.04
	付属施設	0	0.00
	給水管	66	42.27
	計	80	153.31